## 1. 検討の目的

全国的に、人口減少、少子高齢化時代が到来し、都心部における国際競争力の強化などが 重視されてきている中、大阪都心部においては、梅田やなんばを中心に複数の大規模開発が 進み、また居住者の都心回帰が一層の進展をみせるなど、大きな転換点を迎えている。

そのような状況を踏まえ、大阪都心の中長期的なあり方、都心戦略の新たな方向性を検討するため、平成23年4月より産学官の参加のもと「都心戦略検討会」を設置し、国際競争力、イノベーション、都心の中枢機能、都心空間の再編など多岐に渡る議論を行った。

その中で、「大学・教育機関」が、産業のイノベーション、都市の国際化を推し進めるためには重要な役割を果たすことが指摘された。

よって、本年度も引き続き、平成24年度「都心戦略検討会」を設置し、昨年度指摘された「都心と大学のあり方」をテーマに据え、京阪神圏における大学の現状、大学誘致施策の状況、国内外の大学誘致事例、また、大学等関係組織へのヒアリング結果等を参考に、「大阪都心部における大学誘致のあり方」等について具体的な検討、提案を行うことを目的とする。

# 2. 平成 24 年度「都心戦略検討会」について

### 1)検討会のメンバー

検討会のメンバー構成としては、下表のとおり、"学"として村橋先生、角野先生、"官" として国(近畿地方整備局)、大阪市に参加いただくとともに、"産"としては大阪都心と大 梅田を議論するうえで欠くことのできない企業に参加いただいた。

	構成メンバー(敬称略、部署名等は H24 年 3 月時点)	
	村橋先生(大阪工業大学教授 リエゾンセンター長)	
学識等	角野先生(関西学院大学総合政策学部教授)	
	各回の講師、識者	
民間企業	西日本旅客鉄道株式会社	
	阪急電鉄株式会社	
	阪神電気鉄道株式会社	
	関西電力株式会社	
	大阪ガス株式会社	
行政等	国土交通省(近畿地方整備局)	
	大阪市(計画調整局、政策企画室)等	
その他	岩本氏((公財)都市活力研究所 顧問)	
事務局	公益財団法人都市活力研究所	
	株式会社アークポイント	

## 2) 各回のスケジュール・テーマ

以下のとおり、全6回の検討会を開催し検討・議論を行った。なお、その間、事務局が各種情報収集・整理及び、各大学関係機関等へのヒアリング、アンケート等を実施し、検討資料への反映及び、議論の話題提供を行った。

第4回検討会では、大阪市(佐藤局長、川田理事、中澤課長)及び芦屋大学理事の倉光教授をゲストとしてお招きし、トークセッションを行った。

スケジュール		検討テーマ
第1回 検討会	H24 8月2日	<ol> <li>平成 23 年度の検討内容の確認</li> <li>平成 24 年度の検討の進め方について         <ul> <li>検討内容、開催スケジュール</li> <li>都市と大学を考えることの意義、効果</li> <li>検討の仮説</li> </ul> </li> </ol>
第2回 検討会	H24 9月25日	<ul><li>1. 検討の仮説に対する検討項目と進捗状況確認</li><li>2. 大学に関する現況と動向の把握</li><li>・京阪神の大学分布及び都心部のサテライト立地動向</li><li>・京阪神の大学の進出形態比較(主に学部構成について)</li><li>・海外等の大学都市の事例</li><li>・ヒアリング、アンケートの進捗状況</li></ul>
第3回 検討会	H24 10月23日	1. ヒアリング、アンケート結果の中間報告と考察 2. 都市のエリアイメージと大学進出形態の検討(その 1) ・大阪都心部の各エリアにおいて、どの様な大学の進出形態が考えられるのかなどを検討
第4回 検討会	H24 12月19日	1. これまでの検討内容と今後の展開確認 2. ゲストによるトークセッション(部署・肩書は検討会当時のもの) ・大阪市 計画調整局長 佐藤 道彦 氏 計画調整局 理事 川田 均 氏 産学官連携担当課長 中澤 恵太 氏 ・芦屋大学 理事 教授 倉光 弘己 氏
第5回検討会	H25 2月7日	1. 都市のエリアイメージと大学進出形態の検討(その 2) ・第3回検討会での議論を踏まえ、大阪都心部の各エリアにおい て、どの様な大学の進出形態が考えられるのかなどを再検討 2. 各エリアにおけるケーススタディ ・上記 1 で整理したエリア毎のケーススタディを実施
第6回 検討会	H25 4月24日	<ul><li>1. 検討内容のとりまとめ</li><li>・各回の検討成果を踏まえ、大阪市における大学誘致推進方策を検討・提案</li><li>2. 今後の展開について</li></ul>

## 3. 提案の概要

# | 章の概要. 大阪市の現況と大学誘致の必要性

市の大学立地状況

大学が集積する京阪神圏にあって、その中核である大阪市内には大学数・学生数が少ない

大阪府市の計画

大阪府市では国際競争力強化に資する人材育成(そのための大学誘致等)を目指している

大学の意向(ニーズ)

京阪神圏の大学の中には、大阪都心部への進出意向のある大学も複数存在している

他都市の事例

各都市の掲げる目標達成のため、公有地等を活用した大学誘致が数多く進められている

大学誘致の必要性

## 国際都市として、大阪市においても積極的に大学誘致を進めていくことが必要

・他都市と比較しても大学・大学生の少ない大阪市では、国際競争力強化に資する人材を多く輩出するために も、また、イノベーションを促進するためにも、積極的に大学を誘致していくことが必要である。

# 2章の概要. 大阪市における大学誘致促進方策の提案

## 方策案1

## 市有未利用地を活用した大学誘致促進

市有未利用地を処分する際、その場所 が大学誘致効果の高い場所である場 合は、一般競争入札ではなく、大学等 の機能導入を条件とした事業プロポ ーザルにより処分を行う。

### 【以下は処分までの流れ案】

①大阪都心部において大学誘致の効果が 高いと考えられる立地((仮称)大学等 誘致推進拠点)を設定

②(仮称)大学等誘致促進拠点においては、 市有未利用地の大学等への処分を積極 的に推進することを、上位計画や未利用 地活用方針に位置づける

③上記(上位計画や未利用地活用方針)に 基づき、処分時には、大学等の機能導入 を条件とした事業プロポーザルを展開

## 方策案2

### 民間活力を活用した大学誘致促進

民間開発において規制緩和措置を受 ける際に必要となる"公共貢献要素" を認定する際に、"ハード"と同時に、 "ソフト(各機能間連携プログラム)" を備えた機能導入を図った場合に、よ り高い貢献度合いがあると認定する。 (より高いインセンティブを付与する)

### 【貢献内容とインセンティブの関係案】

1)ハード整備

・大学サテライト、ホール、カンファレ ンス他の整備

↓ (より高いインセンティブ)

### ②ハード整備+連携プログラム整備

- ・近隣サテライトと連携したホール整備
- ・近隣ホールと連携したサテライト整備
  - ↓ (より高いインセンティブ)

### ③複合的なハード整備+連携プログラム整備

・サテライト、ホール・カンファレンス整備

・近隣のサテライトとホールとの連携

## 方策案3

### |支援策・体制拡充による大学誘致促進

### 新たな助成制度の導入

従来の「大阪市企業・大学等立地促進 助成制度」で定められている助成要件 に加え、進出後の「地域活性化(エリ アマネジメント) に資する取組み 1 や 「産学連携に資する取組み」が具体的 に計画されている大学について、建設 費等の一部を助成する。

## 「進出意向のある大学」と「大阪市」 とをマッチングする仕組みの強化

- ・大阪市の大学誘致体制を極力強化
- ・大阪市の設置するキャンパスポート大 阪、ナレッジキャピタル等、多くの大学 関係者が訪れる場の一角に大学の誘致 窓口を確保

・「大阪都心部への進出意向のある大学」 と「大阪市」とのマッチングの仕組強化

### 方策案1:『市有未利用地を活用した大学誘致促進方策』の概要

### 『(仮称) 大学等誘致推進拠点』の設定

以下のように、優位性と課題の両面を有する立地を"大学等誘致推進拠点"に設定する。

### 優位性(以下はその例)

- ・歴史ある街並み・商店街が存在する ▶・活力が低下している(商店街の活性化が急務)
- ・先端産業の事業所が多数立地する 🔸 ▶・産学連携機会(イノベーション)が欠如している

課題(以下はその例)

・文化・芸術施設が多数く立地する ▶・各施設間ネットワークが欠如している

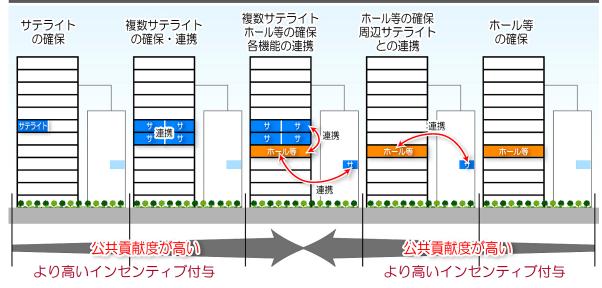
### Ⅱ. 『未利用地活用方針』の拡充

大阪市未利用地活用方針に関して、上位計画や「大学誘致推進拠点」の考え方を反映し活用方針拡充。

## Ⅲ.『事業プロポーザル方式』の積極的導入

上記「未利用地活用方針」に"大学等、高等教育・研究機関等の誘致を積極的に検討する"旨の記載 がある市有未利用地処分に際しては、大学等の機能導入を条件としたプロポーザルを積極的に導入。

### 方策案2:『民間活力を活用した大学誘致促進方策』の概要



### 方策案3:『民間活力を活用した大学誘致促進方策』の概要

# 助成対象の考え方(以下を充たす大学に対して建設費等の一部を助成する)

従来の助成制度の要件

の情報提供や斡旋等

を求める大学

」□□地域活性化プログラム ・市の重点産業分野業種の大学等 ・エリマネへの参画計画

・産学連携活動の計画

大学:年度毎に活動の進捗状況・成果を報告 + 国内外への発信

□□□産学連携プログラム

大阪市:助成の適正さを確認

# 「大学」と「大阪市」とのマッチングを促進する仕組みの考え方

大学(進出意向もある) 体制強化・窓口の確保 ・都心部の用地・建物

・大阪市の大学誘致体制を極力強化 ・例えば、キャンパスポート大阪やナレッジ キャピタルの一角に相談窓口を確保

### 大阪市(の成長戦略) 「人材力強化・活躍の場づ

くり」「強みを活かす産

業・技術の強化」等

# 3章の概要. 大阪市 各エリアでの展開案の提案

## (1) 大阪都心部及び周辺における大学誘致の考え方案

## 1)都心核(大阪駅周辺等)において

サテライトの集積を活かしたネットワーク型キャンパスの展開 : 「国際的に活躍できる人材育成」

## 2) 都心部(都心南北軸の後背) において

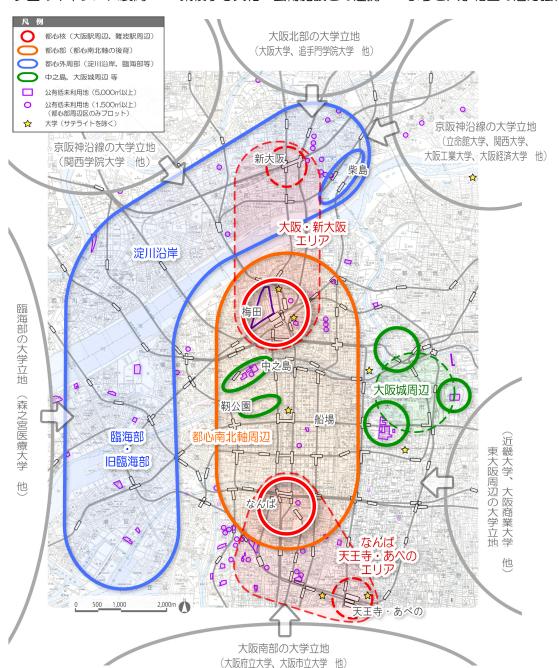
ビル型のキャンパス展開 : 「実際のまちを研究フィールド化 ⇒ 学生の成長とまちの活性化」

## 3) 都心外周部(淀川沿岸、臨海部等)において

パーク型のキャンパス展開 : 「集積する先端産業との連携・イノベーション促進」

## 4) 中之島において

パーク型のキャンパス展開 : 「集積する文化・芸術施設との連携 ⇒ まちと大学相互の魅力強化」



## 都心核(大阪駅周辺等)における展開案

### 『ネットワーク型キャンパスの形成』

### ◆ ケース 1:「既存ホール・カンファレンス」の有効活用

- ・アイドリングタイムの既存ホール・カンファレンスを、 提携大学※に、低廉な利用料で開放。
  - ⇒各大学の会合や、各種講座に利用可能
- ※提携大学(学生)は、ホール・カンファレンスを利用できるかわりに、梅田のエリマネに参画してもらう

## ◆ ケース2:「大淀エリアへの環境系大学機能」の導入

- ・物流等の土地利用が多く分布する大淀エリアでは、うめきた2期と連携した開発を誘導。
- ・新規開発には、環境系の学部・学科機能を誘導し、ナレッジキャピタルとの連携を図る。
  - ⇒2期の未利用容積の移転(開発費の一部に充当)
  - ⇒新規開発では、大学等の用途に限り容積率を緩和

# 都心部(都心南北軸後背)における展開案

### 『ビル型(コンバージョン型)キャンパスの形成』

### ◆ ケース 1: 「大阪市立東商業高校跡地」の有効活用

- ・既存建物を可能な限り活用し、建築・都市計画学、社会学 系の大学を学部・学科単位で導入
- ・なお、グラウンド部分は、各種イベント広場等として活用 ⇒ "まち"を研究フィールドとした学部・学科による 参加型・実践型の教育の場の創出

### ◆ ケース2:「既存商店街の空き店舗」の有効活用

- ・空き店舗も散見される南久宝寺商店街(衣料品や服飾雑貨の問屋街)に、「大学・地域連携拠点」を導入
  - ⇒教育・研究拠点 (例:商店街、船場の活性化研究)
  - ⇒情報発信拠点(商店街・まち・大学の各種情報発信)
  - ⇒連携事業拠点(地元産業・商店街・大学の連携)

### 都心外周部(淀川沿岸、臨海部等)における展開案

### 『パーク型キャンパスの形成』

### ◆ 「柴島浄水場」の大規模土地利用転換(⇒大学誘致)

- ・柴島浄水場の土地利用転換により、医・薬系、理・工系 大学のキャンパスを誘致
  - ⇒医薬品工場・研究所や、淀川キリスト教病院等と の連携によるイノベーション促進
  - ⇒環境・エネルギー産業との連携によるイノベーション促進
  - ⇒淀川に面する自然環境活かした研究や、教育活動

### ◆ 「留学生寮」の確保

・賃料水準が比較的低い点を活かし、外国人留学生向けの 宿舎や留学生向けサロン等を確保

## 中之島において

### 『パーク型キャンパスの形成』

# ◆ 「市立扇町高校跡地」の大規模土地利用転換(⇒大学誘致)

- ・市立扇町高校跡地に芸術系大学のキャンパスを誘致
  - ⇒近隣の美術館(今後4丁目に整備予定の近代美術館等)や文化施設と連携したマネジメント※を実施
  - ⇒国際的「文化芸術」+「人材育成」+「情報発信」の場とする。
  - ⇒整備が計画されている「中央緑道」や「中之島遊歩 道等」の豊富なパブリックスペースを、学生のアー ト活動の場とする。
  - (施設型だけではなく、アートが表出するまちを形成)
  - ⇒なお、当面の間、既存校舎を暫定利用した展開も考 えられる。
- ※参考:ボストンミュージアムと同時に創設された「School of the Museum of Fine Arts, Boston」は、美術館と連携したプログラムを展開